

功績・栄光をたたえます

岡山県秘書広報課 ☎(21)0210

春の褒章

黄綬褒章

元郵便集配受託者

杉原スミエさん(備中町西山)



約30年にわたり、郵便物集配受託者として尽力された杉原さん。今回の受章について、「30年間休むことなく業務を行うことができたのは、地域の皆さんの協力、そして家族の理解のおかげだと思います。元気に続けることができ、皆さんに大変感謝しています」と語られました。

全国大会出場

第36回全日本武術

太極拳選手権大会

(7月12日～7月14日・岡山県)

伊賀巴起子さん(原田北町)



「今年の全国大会はジップアリーナ岡山で開催されました。足裏の調整不足で順位を下げてしまったのが残念ですが、多くの皆さんの声援のおかげで、今までになく心静かに演武することができました。支えていただいた皆さんに心から感謝しています」

電気柵を正しく管理しましょう

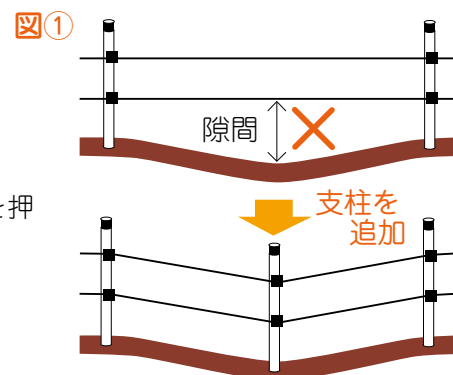
有害鳥獣対策室 ☎(21)1190

イノシシなどの鳥獣から防護効果を高めるために設置する電気柵ですが、正しく管理をしなければ効果的に被害を防ぐことができません。

次のことに注意して電気柵を設置・管理しましょう。

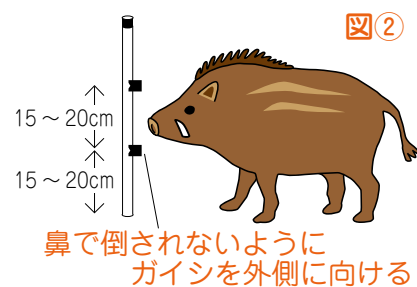
1. 電気線と地面に隙間ができないようにする 図①・②

イノシシ対策の場合、電気線の間隔は15cm～20cmです。くぼみがある場合などは、支柱を増やすなど対策をしましょう。



2. ガイシを外側に向ける 図②

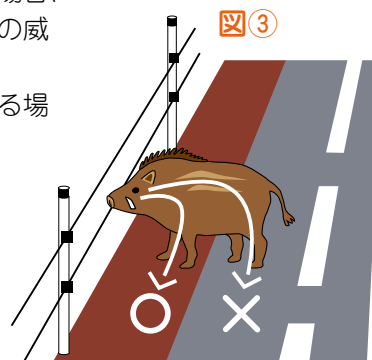
ガイシが耕作地側に向いていると、外側にいるイノシシなどに支柱を押し倒される可能性が高くなります。



3. 電流がしっかり流れるように設置する 図③

イノシシの足が舗装された道路にある場合、電気が地面に抜けにくく、電気ショックの威力が弱くなります。

石垣や舗装してある道路沿いに設置する場合は柵の外側50cm程度が土の地面になるように設置してください。



4. 電気柵の効果を保つために

電線が地面に触れたり、草が絡まっていたり、水に浸かっていると効果が減少してしまいます。電気柵の効果を保つために、電線の周囲を整備しましょう。

5. 定期的に電圧を測定する

漏電や電池切れで電圧が下がらないよう、定期的に測定して効果を保ちましょう。

6. 電気柵は常に通電する

通電していない電気柵に触れると鳥獣が電気柵を怖がらなくなります。昼間の侵入を防ぐため日中を通して通電するとともに、農作物がない時期も通電するようにしましょう。

※鳥獣のエサとなる収穫物の残りがすなども取り除きましょう。



- 農作物被害にお困りの場合は有害鳥獣対策室へご相談ください。
- 防護柵の新規購入、買い替えに対する補助金があります。
- 防護柵の更新時は、防護効果の高い金網(ワイヤーメッシュ)を推奨しています。

復興に向けて 平成30年7月豪雨 第12回

子ども災害見舞金

平成30年7月豪雨により被災した子どもを養育している世帯に対して見舞金を支給しています。

対象 住居が全壊、大規模半壊、半壊、床上浸水のいずれかの被害を受けた子ども(平成12年4月2日から被災日までの間に生まれた子)がいる世帯

支給額 子ども1人当たり2万円

申請方法 申請書に必要書類を添えて郵送(申請書はこども未来課に備えているほか、岡山県子ども家庭課のホームページからダウンロードできます)

申請先 ☎703・8278 岡山市中区古京町1-7-36 「子ども災害見舞金係」

申請期限 10月31日(木)まで

※詳しくはお問い合わせください。

岡山県子ども家庭課子ども災害見舞金係 ☎086(226)7874



岡山県子ども家庭課

新たに救命胴衣を整備

(二財)自治総合センターの宝くじ助成金を活用し、高梁市消防団で救命胴衣を整備しました。

6月に行われた大規模水害対策訓練では、消防団員が新しい救命胴衣を着用し土のうづくりなどを行いました。今後は各地域に配備し、訓練や有事の際に活用していきます。

消防総務課 ☎(21)0122



9月1日は「防災の日」

「防災の日」は、昭和34年9月26日に5000人を超える死者や行方不明者が発生した伊勢湾台風の上陸が契機となってその翌年に創設されたもので、9月1日は関東大震災が発生した日に由来しています。また、9月1日(日)～9月7日(土)は「防災週間」です。

台風の接近や上陸は毎年8月から9月にかけて多くなります。自宅や職場の周囲で起こる可能性がある災害や危険な箇所を確認し、避難場所や避難経路について家族の皆さんで話し合うなど、しっかりと災害への備えをしてください。

台風に備えましょう

- 排水溝などを掃除
- 屋根や窓を補強
- 飛ばされそうなものを屋内へ移動



7月の火災・救急件数

火災 2件(前月と同じ)

救急 175件(前月から38件増)

消防本部予防課 ☎(21)0121